

故郷（ふるさと）野付の自然 3 8

3万5千年前の泥炭層



野付中学校の前には、国道244号が通っていますが、その道路から海側は直ぐに崖になっています。その崖は徐々に崩壊して、今は綺麗な地層が露出しています。

その地層は実は、氷河期と温暖期を繰り返した痕跡が何層にも重なってまるで氷河期の見本のような地層だそうです。よく見ると火山灰の層に挟まれて泥炭層が何層も見ることが出来ますが、その泥炭層に樹の根や植物の茎のようなものが地層から表出しています。まるで最近のもののように見えますが、実は3万5千年前の植物の痕跡だそうです。寒冷な気候で植物が腐食せずそのまま残っているのです。この層は野付の外海にも広がっているそうで、過去にマンモスの化石も網に掛かって引き上げられたことがあります。

学校からわずか数分で、太古の証をまじかに見る事が出来るのは大変貴重なことです。でもここは崩壊をしている崖地ですので、勝手に近づいたり見に行ったりしないでください。見たい人は必ず、先生方に相談してください。